

自転車 生活の 案内人

見沼区の「自転車工房いのうえ」の店長・井上一さんは、来店客にすぐに自転車を売ろうとはしない。店先に並ぶ多種多様な自転車を試乗してもらい、自分の生活や趣味に合った1台をじっくりと探してもらおう。なぜなら自転車を飽きることなく、長く楽しんでもらいたいから。同じ理由で7年前から、さいたま市を中心に地域の名所・旧跡などを自転車で巡るツアーを始めた。そんな自転車生活の案内人に、その魅力や付き合うコツを聞いた。

自分に合った1台を見つけよう

店先にロードバイクやクロスバイクなどたくさん自転車が並んでいますね。

自転車を買いたい人にはまず

自転車の楽しみは「見る」「食べる」「走る」

—— 自転車工房いのうえ
井上 一さん



PROFILE

井上 一さん(59)

自転車工房いのうえ(見沼区堀崎町)店長。大宮区出身。高校を卒業後、自動車販売会社で営業を担当。昭和63年1月に退社し、両親が経営する自転車店に転職。平成元年から現職。店は自転車のラックや工具、空気入れを無償で貸し出す市認定の「さいくろステーション」に登録されている。

色々に乗ってもらいます。乗らないことには、どの自転車も自分に合っているのか分からないですから。分からないまま買って飽きられたら、その人にとっても自転車にとっても不幸ですよ。自転車生活を楽しむのは、自分に合った1台を見つけることから始まります。それから旅に出てもらうんです。

名所・旧跡で発見する
楽しみを味わおう

—— ボランティアで自転車の
ツアーを開いているとか。

はい。2か月に1回ほどのペースで希望者を募って、自転車各地を巡っています。やることは「見る」、「食べる」、「走る」の3つ。単に走るだけだと面白くないじゃないですか。だから史跡や文化財、菓子工場や食事



処^{どころ}などで途中下車します。例えば見沼田んぼや与野七福神を巡り、途中でお菓子を買ったたり、食事をしたりするんです。おいしいものを食べると嬉しいじゃないですか。それがいい思い出になり、また走ろうという気持ちになるんです。

参加者には事前に行き先の情報を載せたチラシを配ります。ただ、すべての情報は書きません。訪ねた時に自分で名所・旧跡に何が隠されているかを発見してもらえます。発見することも楽しみですから。私のツアーは自転車で散歩する感覚ですね。だから「散走^{さんそう}」って呼んでいます。車だと景色はゆっくり見られないし、徒歩だと長いコースはしんどい。自転車だとそうした問題がなく、気軽に楽しめるんですよね。

ツアーの参加者は30代〜70代。コースによっては一般の自転車でも問題なく走れます。だ

いたい私が先頭を走ります。曲がる時にはハンドサインをしたり、遅れが出ている人がいたら声掛けをしたりするんです。ツアーに参加すれば左側通行など自転車のマナーが学べますし、参加していない人でもそれを見てまねてくれます。マナーを伝えるのも自転車屋の仕事だと思っています。

オリジナルのコースを作る

— 自転車生活を楽しむ上で、さいたま市の魅力を教えてください。

なんととっても道が平らで、自分のペースで走れます。旧坂

東家住宅見沼くらしつく館のように、休憩ができる「さいクルステーション」が多いのもいい。それから名所・旧跡がたくさんあります。岩槻宿や武州鉄道の跡地など挙げれば切りがありません。大人の遠足にもなりますし、子どもの学習にもなります。とにかく魅力的なスポットが多く、それらを組み合わせればコースは無数に組めます。自宅から駅までの移動手段としてだけでもいいですが、せっかく自転車があるのならもっと楽しんで乗って欲しい。ぜひオリジナルのコースを作って、自転車生活を長く楽しんでもらいたいですね。



INFORMATION

自転車工房いのうえ

住所：見沼区堀崎町1096-5 定休日：不定休
営業時間：8時30分～18時30分 問合せ：☎・FAX 687・7096
☞ <https://www.facebook.com/hajme.ichi.inoue/>
井上さんのツアーに参加したい方は、上記のURLをチェックしてみてください！

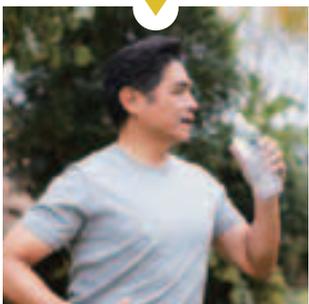


自転車生活をもっと快適に！

市認定のさいクルステーションを使ってみよう！

POINT1

気軽に立ち寄って休憩ができる！



POINT2

トイレだけでも利用できる！



POINT3

無料で空気入れや工具が借りられる！



のぼり旗が目印



わたしの工具箱

井上さんの愛用の仕事道具を教えてください！

リム振れ取り台



プライヤーレンチ

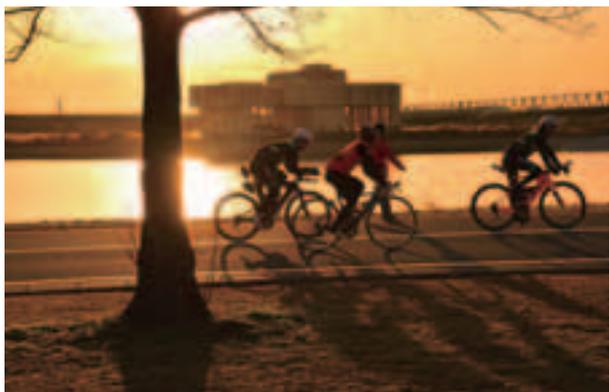


メーカーから入荷した自転車は、井上さんの手で丁寧に調整してから店頭に出されるこだわりっぷり。このリム振れ取り台は年代物で、持っている店舗も今や少ないそう。

※お店の方に迷惑をかけないようにマナーを守って利用しましょう。 ※写真はイメージです。



彩湖の夕暮れ（桜区田島ほか）



彩湖の周りでは、美しい湖を眺めながらサイクリングを楽しむことができ、いつも多くのサイクリストで賑わっている。

見沼田んぼの自然



見沼代用水沿いに緑のヘルシーロードと呼ばれるサイクリングロードがあり、一面の田園風景に癒やされる。春の桜回廊も圧巻。

北区見沼のコスモス畑



市内にはコスモスを植えている休耕地などの土地がいくつかあり、秋には一面のコスモス畑が見る人を楽しませてくれる。

市内の指定文化財



名所めぐりなど、目的地を決めてサイクリングに出かけるのも楽しい。写真の南部領社の獅子舞などの日程は、19ページに掲載。

さいたま市はなぜ自転車人口が多いのか

さいたま市はとにかく自転車人口が多く、世帯での自転車保有率は、83.5%と14大都市でトップとなっています（※1）。

自転車人口が多いのは、地形が平坦で、快晴日数が多く、鉄道網が充実しているなど、自転車が利用しやすい環境であるから。国土交通省の調べによると、5km以内の移動であれば、鉄道や車よりも自転車のほうが所要時間は短く済みます。とりわけさいたま市の場合、居住地と目的地との間を行き来する際に道が平坦で、なおさら走りやすい環境です。調査によると、人が住んでいる面積の99.9%が傾斜3度未満となっており、政令指定都市では最も高いのです（※2）。

パンクや故障などで困ることがあっても、約125件の自転車店が市内に分布しているので心強く、市の自転車通行空間（自転車レーン）の整備事業に加え、シェアサイクル事業が進んでいることも自転車人口を増や

すのに貢献しています。

一方で、自転車の保有率や利用頻度が高いからこそ事故も多く、あらゆる交通事故の中で自転車関連のものは35.7%。これは政令指定都市の中で2番目に高い数値です。また、平成26年に行った市民アンケートでは、自転車利用者のルールやマナーに対して「不満」と回答の方が55%、「とても不満」が22%となりました。自転車を利用する人は、5ページの「自転車安全利用五則」を心掛けましょう。

自転車人口が増えれば、事故やマナー違反も増えやすくなります。だからこそ、さいたま市はさまざまな形で自転車を利用しやすいまちづくりを進めているのです。

※1 平成24年、一般財団法人自転車産業振興協会調べ

※2 平成23年国土数値情報

街なかでは
自転車レーン
を走ろう

さいたまのサイクリングロードで秋の風を感じよう



サイクリングマップを自転車まちづくり推進課、各区情報公開コーナーで配布中！

※市のホームページでダウンロードもできます。



自転車はシェアする時代!あなたは知ってる?

HELLO CYCLING とは?

全国でシェアサイクリングを利用できるサービス。市とOpenStreet株式会社によりシェアサイクリング普及に向けた実証実験中。スマホで簡単に利用でき、指定のステーションであれば、どこでも借りられて、どこでも返すことができます。複数台の予約も可能で、まち乗りから観光まで、さまざまなシーンで気軽に使えます。



ハロー サイクリング

HELLO CYCLING がすごい!

HELLO CYCLING をかしこく始めよう

初めて利用する方は、ウェブサイトやスマートフォンアプリから会員登録。利用したいステーションを検索し、貸出・返却予約ができます。返却はHELLO CYCLINGのロゴがあるステーションへ。
※登録は無料で、利用ごとに料金が掛かります。詳細はウェブサイトをチェック。



📄 <https://www.hellocycling.jp/>



EVENT

ツール・ド・フランスの熱狂がすぐそこに!

J:COM presents

2019ツール・ド・フランス さいたまクリテリウムを 観戦しよう!

10月27日(日)

世界最高峰の自転車ロードレース「ツール・ド・フランス」の名を冠した自転車競技イベント。それが、ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム。2019年のツール・ド・フランス本大会で活躍した世界のトップ選手たちが、さいたま新都心を舞台に熱戦を繰り広げます。



見どころ1

**本場の興奮と感動を
さいたままで味わえる!**

選手のほかにも、フランスの本大会と同じ運営スタッフやカメラマン、機材などがやってくる。

見どころ2

**世界でも稀な屋内コースを
選手たちが駆け抜ける!**

3年ぶりにさいたまスーパーアリーナをコースの一部に使用。憧れの選手が目の前に。

詳細や関連イベントは次のページをチェック!

EVENT

自転車マナーアップ キャンペーン in 美園

～さいたま市自転車のまちづくり推進条例周知イベント～

11月3日(祝) 9時～16時

イオンモール浦和美園(緑区美園)

自転車シミュレーター、交通安全用品・最新自転車の展示などで、自転車の安全利用の大切さを実感しましょう。



自転車安全利用五則

楽しい自転車生活を送るために
みんなでルールを守ろう

- 一 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 二 車道は左側を通行
- 三 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 四 安全ルールを守る
 - ・飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - ・夜間はライトを点灯
 - ・交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- 五 子どもはヘルメットを着用